

人と人、人と自然とのつながりを学ぶ環境楽集（がくしゅう） 地域の人々をつくる「ふるさと葉山川博物館」

身近な自然環境である葉山川での環境学習を基点に、地域の自然や人を愛し、みんなが幸せに生活するために、環境に配慮した暮らしや行動の仕方について考え、実行していける子どもをめざす。

1 学校の概要

本校は、京阪神のベッドタウンとして人口が急増している草津市に位置する。

平成17年よりエコ・スクールの実践校の指定を受け、校区に流れる葉山川を中心とした環境学習を重ねてきた。平成19年には淡海こどもエコクラブ大賞を受賞し、近年はFBC（フラワー・ブラボー・コンクール）にも参加し、自然や生き物とのふれあいを体験する学習を積み重ねてきている。

また、平成24年度から「滋賀環境教育リーディング事業」の指定を受け、環境学習に重点を置き、地域の方々と共に取り組んだ。また、平成25年には環境省より環境保全功労者表彰を受けた。

2 「エコ・スクール笠縫東」の取り組み

（1）環境への関心と地域への愛着

社会では、地球温暖化、水質汚濁など、様々な環境問題がメディアに取り上げられている。

それらの問題は何か一つを変えれば解決するような問題ではなく、様々な立場の人と協力しながら少しずつ解決していかなければならない問題であり、一人ひとりが自分勝手な考えを改め、相手の立場に立って行動したり、将来を見据えて行動したりする事が大切である。

本校が進める環境学習のねらいは、人と人、人と自然のつながりを学び、学ぶ楽しさを知る中で、環境への関心や地域への愛着を深め、自分の意思をもって行動にうつすことができることにある。

（2）エコ・スクールは、仲間づくりから…

本校の「環境学習」は「自然環境」という意味だけでなく、「地域・人」も含め、「自然・地域・人」を広い意味での「環境」ととらえている。

一年間を通して、地域の方々にお世話になりながら地域を流れる川である「葉山川」を基点に、全学年が、生活科・総合的な学習の時間を中心に「葉山川学習」に取り組み、環境学習を推進している。大人も子どもも楽しく集いながら環境学習を進めており、このことから「葉山川楽集（がくしゅう）」と総称している。そしてこの学びの過程において、子どもたちと地域の人々との「つながり」を特に重要視している。

地域には、子どもの地域での学習をサポートする「地域協働合校推進協議会」があり、特に、エコスクールについては「エコスクール支援委員会」を年2回開き、学校と地域とが連携して学習を進めている。子どもたちには、学習を通して、自然のすばらしさや人の心のあたたかさに気づき、ふるさとを大切に作る心が養われてきている。

(3) 6年間を通した取組

低学年では川原にある草花や生き物を中心に、生活科の遊びの中で身の回りの生命に触れている。

中学年では、理科の学習と併せて、昆虫や水生生物などの小動物の観察を中心に調べ学習をしながら、食べものやすみかについても考えた。

特に4年生では、川探検で川の中に入り、水生生物や魚をつかまえたり、川底の感触や水の冷たさを体感したりすることにより、より身近な川に感じるができた。一方で、川の中に多くみられるごみの問題についても考える機会となった。また、地域の方々や昔の旧葉山川の跡地や遺跡をまわり、昔の人々の葉山川への思いや、葉山川の氾濫による人々の苦勞などを知ることができた。



(4年 旧葉山川の跡地めぐり)

高学年になり、5年生では葉山川から琵琶湖に視点を広げ、フローティングスクールには葉山川の水を持参し、水質・透明度の違いを調べ、琵琶湖へ続く川として意識することができた。6年生では、地域で環境保全活動に携わっている方々一人ひとりからお話を聞き、その方の思いや生き方にふれ、そこから今後の自分の生き方を考えていく学習を行った。



(6年 地域の環境保全活動されている方のお話)

(4) 委員会での取組

本校には「エコロジー委員会」があり、委員会活動においても環境活動を進めている。昨年度はビオトープの看板作りを行った。今年度はメダカの放流、ジュズダマやショウブなどの移植も行い、生き物がより暮らしやすいビオトープにする活動を行った。また、2月には地域の方と一緒に葉山川に入りごみ拾いをし、拾ったごみを分別するとともに、プラスチック製品などの自然に戻らないゴミが環境や生き物の生態にも影響を与えることを学んだ。これらの取り組みは、全校集会で発表したり「エコかるた」を作成したりしながら全校に知らせることができた。



(委員会活動 葉山川で拾ったゴミの分別)

3 ふるさと葉山川博物館での学芸員タイム

毎年地域で開催されている学区民のふれあい祭りの日に「ふるさと葉山川博物館」を開館している。多くの来館者があり、一方的に展示を見せるのではなく、子どもたちが「こども学芸員」として展示物の前に立ち、直接展示物の解説を行う時間を設けている。子どもたちと地域の人々とが交流するだけでなく、子どもたちは、自分の言葉でふるさとの自然について語る事ができた。

4 葉山川俳句づくりから「葉山川句会」へ

3年前より本校では全校で「葉山川俳句」に取り組んでいる。葉山川周辺の自然に触れ、それぞれの季節ごとにその思いを俳句で表現している。葉山川博物館で展示する以外にも、本年度は句会を開き、全校や地域の方々と一緒に俳句を通して葉山川や地域の自然の素晴らしさを味わうことができた。



(葉山川句会の様子)

6 発表の場を設ける

ふるさと葉山川博物館だけでなく、草津市で行われたこども環境会議にも複数のグループが参加し、葉山川学習で学んだことを発表することができた。こうした取り組みの中で、学習したものがより自分のものとなり、自分の思いや考えを伝える力がついていくものと思われる。

7 おわりに

葉山川学習で出会った地域の人々とのつながりは、今後も続いていくだろう。地域の自然をテーマにした環境学習は、持続可能な地域づくりであり、町づくりである。子どもたちがそこから学ぶ楽しさを知り、地域の人と楽しく集う関係を作りながら、自分の住む町に愛着や誇りをもつことこそ、その第一歩である。

学校名： 草津市立笠縫東学校
住所： 草津市平井3丁目8-1
電話番号： 077-564-4391
E-mail: info@kasanuihi-p.sk.ed.jp